

山形県農業農村整備長期計画の中間見直しの概要

(計画期間：平成29年度～令和8年度)

令和4年3月31日
農 林 水 産 部

1. 中間見直しの考え方

中間年までの評価や、農業農村を取り巻く情勢の変化等を踏まえ、施策の展開方向や成果目標等を見直す。

2. 計画の位置付け

「第4次農林水産業元気創造戦略」(令和3年3月策定)に基づき、農業農村整備分野の施策展開と成果目標を明らかにし、具体的な取り組み内容を示すもの。

3. 中間見直し後の計画期間

・現行計画の残期間
⇒令和4年度から8年度までの5年間

基本方針1：農業・農村を持続的に発展させる生産基盤の強化

施策1： 担い手への農地集積・集約化の推進



展開方向1 基盤整備による農地集積・集約化の推進

- ◆地域の合意形成に向けた話し合いの場の設定
【担い手の育成・確保に必要な集積計画の策定など】
- 指標：担い手への農地集積率及び集約化率(%)
・集積率[H28現状(63)] R2目標75⇒実績77【達成】>R8目標：80⇒90%(見直後)
・集約化率[H28現状(89)] R2目標90⇒実績90【達成】>R8目標：90%



展開方向2 農地中間管理機構等との連携強化

- ◆農地整備事業における機構活用モデル的な取り組みの推進【地域が一体となった機構の活用・普及など】
- 指標：農地中間管理機構により転貸された面積率(%)
[H28現状(50)] R2目標80⇒実績67【概ね達成】
- 指標：農地中間管理機構により転貸された面積(ha) [R2実績1,215] >R8目標：1,800ha(見直後)

施策2： 生産性の持続的 向上のための基盤 整備



展開方向1 低コスト化に向けた生産基盤整備の推進

- ◆農作業の省力化及び効率化に向けた基盤整備の推進【農地の大区画化や管路化の推進など】
- 指標：大区画整備面積(50a以上)(ha)
[H28現状(3,249)] R2目標4,000⇒実績3,934【概ね達成】>R8目標：5,000ha



【新規】

- ◆スマート農業技術を最大限に発揮する基盤整備の推進【自動給水栓の導入促進など】
- 指標：ICTを活用した水管理システムの導入(地区) [R2実績1] >R8目標：30地区

展開方向2 農業水利施設の長寿命化対策の推進

- ◆機能保全計画に基づく対策工事の適時的確な実施【補修・更新履歴情報の一元化など】
- 指標：機能保全計画の策定箇所(箇所)
[H28現状(330)] R2目標418⇒実績458【達成】>R8目標：548箇所

展開方向3 地域農業の将来を見据えた事業計画の策定

- ◆地域の実情や営農を踏まえた事業計画の策定【集落ビジョンのワークショップや営農計画の策定支援など】
- 指標：高収益作物導入を図る事業計画策定地区(地区)
[H28現状(15)] R2目標26⇒実績45【達成】>R8目標：46⇒70地区(見直後)

施策3： 農業所得向上ため の産地づくりの推進



展開方向1 高収益作物への転換を後押しする水田の畑地化・汎用化の推進

- ◆地域の営農状況を踏まえた園芸作物の導入支援【地下かんがい導入や暗渠排水等の排水対策など】
- 指標：水田畑地化整備面積(ha) [H28現状(1,196)]
R2目標2,800⇒実績2,798【概ね達成】>R8目標：3,100⇒4,600ha(見直後)

展開方向2 園芸団地の形成に向けた水田畑地化対策の推進

- ◆農業関係機関との連携による新たな担い手の育成が可能な園芸団地の整備
【園芸団地化推進プロジェクトチーム等との連携など】
- 指標：高収益作物の生産額(億円/年)
[H28現状(10)] R2目標20⇒実績20【達成】
- 指標：園芸団地の数(団地) [R2実績20] >R8目標：28団地(見直後)



展開方向3 中山間地域に適した高収益作物の導入促進

- ◆小規模経営体に対する高収益作物の導入支援【荒廃農地の再生利用や営農定着など】
- 指標：中山間地域における高収益作物の導入地区(地区)
[H28現状(51)] R2目標105⇒実績110【達成】>R8目標：133⇒170地区(見直後)

施策4： 農業水利施設の保 全管理体制の強化



展開方向1 土地改良区による農業水利施設の管理体制の整備・強化

- ◆地域住民と連携した管理の強化
【ICT技術の活用、多面的機能支払活動組織との連携など】
- 指標：土地改良区と地域住民との管理協定の締結数(協定)
[H28現状(140)] R2目標148⇒実績160【達成】
- >R8目標：160⇒172協定(見直後)



基本方針2：農業生産が支える美しく活力ある農村づくり

施策1： 多様な地域資源 の利活用促進



展開方向1 小水力等再生可能エネルギーの利活用促進

- ◆事業実施中の施設に係る早期の完成と供用開始
【民間発電事業者と土地改良施設のマッチング支援など】
- 指標：新たな小水力発電の導入箇所(施設)
[H28現状(9)] R2目標13⇒実績13【達成】>R8目標：16施設



施策2： 農業・農村の多面 的機能の維持・向 上と農村活性化



展開方向1 中山間地域における持続的な農業生産活動の促進

- ◆農地管理や営農作業の省力化を通じた中山間地域等直接支払制度の取組み拡大
【集落協定の広域化、実践的な集落戦略の策定に対する指導助言など】
- 指標：集落戦略の策定数(集落)
[H28現状(8)] R2目標40⇒実績60【達成】
- >R8目標：88⇒383集落(支援対象外を含む)(見直後)



展開方向2 地域共同活動による農地等保全管理の推進

- ◆多面的機能支払交付金を活用した地域共同活動への支援【多様な地域の担い手の育成など】
- 指標：多面的機能支払活動における非農業者の割合(%)
[H28現状(24.2)] R2目標27.2⇒実績27.3【達成】>R8目標：31.8⇒35.1%(見直後)

展開方向3 農村活性化の中心を担う人材の育成

- ◆地域づくりを一貫してコーディネートできる人材の育成【女性・若手農業者の参加拡大など】
- 指標：地域づくりリーダー育成研修参加者(人)
[H28現状(-)] R2目標60⇒実績62【達成】>R8目標：150人



展開方向4 農業を起点とした地域づくり活動の促進

- ◆行動計画の策定から実践的な取組みまでの総合的支援
【地域ニーズに応じた専門家派遣など】
- 指標：地域活性化に向けた地域づくり支援箇所(箇所)
[H28現状(43)] R2目標83⇒実績88【達成】>R8目標：131箇所
- ◆地域資源を活用した付加価値の創出支援
【企業やNPO等との連携を支援、棚田の保全活動支援など】
- 指標：企業等と連携して営農継続を図るモデルの支援地区(地区)
[H28現状(2)] R2目標5⇒実績6【達成】>R8目標：9地区



施策3： 安全・安心な暮らし を守る防災・減 災対策の推進



展開方向1 ため池の耐震化対策等の推進

- ◆農業用ため池の耐震化など災害の未然防止対策の推進
【耐性評価等を踏まえた対策工事など】
- 指標：安全対策が講じられた防災重点農業用ため池(箇所)
[H28現状(25)] R2目標42⇒実績45【達成】>R8目標：91箇所



展開方向2 農地・農業用施設等災害復旧対策

- ◆市町村に対する災害復旧事業の技術的なサポート体制の強化
【ICT技術の活用による被災状況の把握、災害制度や復旧工法の研修など】
- 指標：農村災害専門技術者の認定者(人) [H28現状(53)] R2目標65⇒実績62【概ね達成】
- 指標：災害復旧支援者育成研修の履修者(人) [R2実績62] >R8目標：102人(見直後)

【新規】

- ◆治水対策を補完する水田の貯水機能を活用した取組みへの支援【田んぼダムの広域的な展開など】
- 指標：田んぼダムの取組み面積(ha) [R2実績1,599] >R8目標：6,377ha

展開方向3 効果的な地籍調査の促進及び啓発

- ◆優先度の高い地域での効果的な地籍調査の促進【防災対策や森林保全の施策との連携など】
- 指標：緊急性が高い地域における地籍調査実施面積(km²)
[H28現状(0.7)] R2目標9.6⇒実績14.8【達成】>R8目標：21.1km²



次世代の担い手が活躍できる生産基盤の強化／大規模災害等にも対応できる強靱な生産基盤の強化／地域の魅力ある資源を活用した農山村の活性化